

みつばち文庫

～子供たちにたくさんの良い本を読んでもらいたい～



これまで「みつばち文庫」で寄贈した本、寄贈校の一覧など、詳しくはこちらをご覧ください。

私たちは、「自然環境の大切さ」「人と人とのつながり」「命の大切さ」といった人としての大切な心を次の世代に伝えていきたいと考えております。

その思いから、子供たちが自ら学び、深く考え、行動に繋がられる本を、既刊の図書の中から選定して、毎年10冊前後の図書を1999年から全国の小学校へ寄贈してまいりました。その数はこれまでに延べ65,478校、71万冊以上になります。

子供たちが本を読むことは、種を播くことに似ているように思います。それは、命を育てることを学び、他者を慈しむ心を育て、未来への想像力を身につけることに繋がるからです。

また、養蜂業という農業を原点とする弊社では、かつての農型の社会で地域ぐるみで子供たちの成長を見守ってきたように、多くの人々と共に、子供たちに「心の栄養」を届けていきたいと思っております。そのため、「みつばち文庫」は、小学校の先生方から寄贈応募をいただくほか、新聞やHP上などで一般公募も行い、抽選で寄贈先を決定しています。一般公募で選ばれた小学校にお届けする本には、応募された方の直筆メッセージカードを添えてお贈りしています。

また、この活動を永続的なものとするため、本年より応募いただき当選された方に送料をご負担いただいております。皆さまの暖かいご支援によって、この活動は続いております。本とともに、多くの方が子供たちの心の成長を願う気持ちをお受け取りいただければと思います。

アピセラピーを追究する。

山田養蜂場

YAMADA BEE FARM